

座光寺

2012
9
No.22



座光寺風景

なにが獲れたかな？

7月15日(日)渋谷区の皆さんとの交流会が水辺の広場で行われました。親子で魚や虫を捕まえて楽しみました。また、座光寺小学校中村校長による水生生物勉強会も開かれました。(場所:河川敷グラウンド下)

水辺の広場で 皆さんとの交流

公民館長 塩澤 哲夫

台風の風雨の心配をよそに、さわやかな天候に恵まれて、七月十五日(日)に渋谷の皆さんとの交流を水辺の広場で行いました。

児童・保護者百五十余人の参加(渋谷から三十五人)を得て、水生生物の捕獲と観察に歓声があがり、五平餅を焼いて頬ばる顔には満面の笑みが広がり、にぎやかな交流ができました。

自治委員会総務文教部、環境衛生委員会、公民館健全育成部、そして水辺の広場委員会、ふるさと応援俱楽部の方々に連携して行いました。

子どもからは、日々に「楽しかった」の声があがり、保護者の皆さんには見守りながらも一緒に楽しんでもらいました。

渋谷の皆さんから「いつまでも続けてほしい」「いろんな交流ができるといい」「楽しみにしている」との声をいたしました。

「交流」をさらに工夫する」としたら、親同士、年配の人

座光寺の子どもたちは、午後も引き続いだ川遊びをして、充実した一日を過ごしました。



平成24年度

市政懇談会

自治会長 湯澤英範



市政懇談会を地域に活かそう

九月には遺跡発掘調査が予定され状況が切迫していることから、再度の確認を行った。「土地の重要性は認識しているが、何とか所有者との貸借関係を明確化する中で考えたい」と踏み込んだ市長回答。

後日市役所を訪ね、当該地の取得について市長に「要望書」を提出したところ、「地元で、ある程度の誠意を示していただければ、春草公園の例に倣つて市としても考えたい」と異例な前向きな発言。

このことは、市政懇で二年に亘り地域の地道な取り組みを訴えたことが、市長に真意で、問題解決の端緒としたり、地域の想いを市に伝える好機であることから、今年の市政懇は一定の成果があつたものと思つている。

主なる質疑は次のとおり。
高岡一号古墳の隣接地問題
この課題は、昨年の市政懇でも質問した課題であるが、

参加者が百名を超える例年にない盛況であった。

市政懇は、地域の課題について直接市長と市民が意見交換する場として開催するもので、問題解決の端緒としたり、地域の想いを市に伝える好機であることから、今年の市政懇は一定の成果があつたものと思つている。

主なる質疑は次のとおり。
高岡一号古墳の隣接地問題
この課題は、昨年の市政懇でも質問した課題であるが、

基本構想について —後期五カ年へ向けて

地域振興会議では『女性枠』に三名の女性が就かれていました。なぜ『女性枠』か。それは男女共同参画という男性も女性も平等であり、同じ立場で意見を述べられ、お互いの立場を尊重し合い認め合う事からきています。この男女共同参画という事柄を座光寺にてはめた場合、地域性が原因なのか女性は決定権のある場所に参加できていないのが現状です。

平成十九年に新しい自治組織ができ、当初つくりあげた、基本構想・基本計画の五ヵ年経過を迎える前五ヵ年の見直しと、後期五ヵ年の計画策定について「六つの里づくり」構想の六つの部会に分かれ、昨年の十一月より各部会、七回から十回に及ぶ検討を頂き、本年度末までに皆様へ五ヵ年の実績と、後期五ヵ年の基本計画をお示し出来る見込みと成りました。

目指す将来像については、

が、「リニアを見据えた地域づくり」の視点から対応すべき施策について後期五カ年計画に、加味してあります。

提言1 男女共同参画 振興会議女性枠 増員について

こんな中、振興会議では女性委員を各区から一名ずつの五名選出する案が出され、地区連絡会にも参加していただき意見出来る場を設けます。

現在、座光寺に建設されるであろう、リニア新幹線・スマートインターチェンジという大きな問題を抱えている中で、生活に密着した観点から意見の出せる女性が、地域協議会・振興会議に参画することが座光寺にとっての一歩と考え、ここに提言致します。

「六つの里づくり」には、まだ達成できていない大切な課題が残つております。その実現を目指して引き続き残りの五ヵ年で達成出来る様取り組む事と、座光寺地区に直接的に関わつて来ると思われるリニア新幹線、まだ全容が見えてこない中での対応は困難なことです。

提言2 結婚相談員の 増員について

まず地域住民に良く理解してもらい、次代を担う人づくりを図り、地域住民の意向の把握を的確に行い、共通の行政への課題は、他地区との緊密な連携も必要になつてきます。見直された基本構想・基本計画を理解する為にも、今後予定される学習会、説明会は多くの方の参加をお願い致します。

麻績の里づくり
支援事業

平成二十四年度
道路・水路補修改修

魅力あふれるこの座光寺を
男女共同参画の名の元で、将
来を共に考えていきましょう。

こんな中、振興会議では女性委員を各区から一名ずつの五名選出する案が出され、地区連絡会にも参加していただき意見出来る場を設けます。

現在、座光寺に建設されるであろう、リニア新幹線・スマートインターチェンジという大きな問題を抱えている中で、生活に密着した観点から意見の出せる女性が、地域協議会・振興会議に参画することが座光寺にとっての一歩と考え、ここに提言致します。

から、自主的に活動に取り組んでいる団体等に、自治会では支援金を助成しています。一事業あたり最大で十万円ですが、初年度のみとして一年目以降は、自活できるよう知恵と工夫で継続していただければと考えています。

ご相談は、地区の自治委員又は、振興センターまでお問い合わせ下さい。

大変な仕事かと思いますが、地域皆でこの仕組みを支え上げてはありますか。

相談員としては、どの家庭が結婚を考えているとか、どのような若者がいるのかなど的情報収集力も必要となります。相談員を中心にして婚活催したりして、地域全体で支援していくこともよいと考えています。

今年は新たに六十八件の中
請を受けて、六月二十七、二
十八の二日間地区内を見て回
りました。



竹田人形座竹の子会の公演

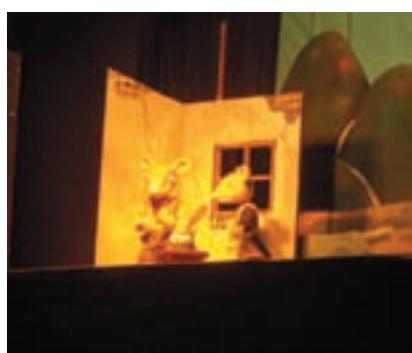
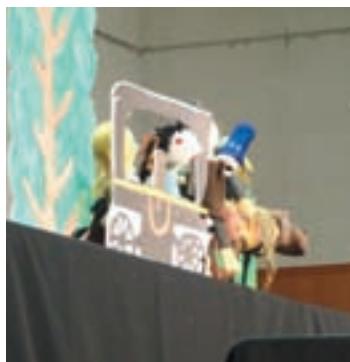


8月5日(日)、麻績の館において人形劇座光寺公演が開催されました。午前の部では竹田人形座竹の子会、座光寺小学校劇団かがやき。午後の部では糸あやつり人形劇団みのむしによる『今夜はうな丼』を楽しみました。

人形劇まつり



座光寺小学校劇団かがやきの公演



糸あやつり人形劇団みのむしの公演

座光寺夏祭り

8月5日(日)午後4時より第3回座光寺夏祭りが開催されました。各地区的七夕かざりや、みこしなど毎年工夫されています。恒例のジャンケン大会、富くじ等で皆さん楽しみました。

また、ダンス、麻績太鼓、座光寺小学校金管バンドが多いに祭りを盛り上げてくれました。



牧野飯田市長のあいさつ



ナイアガラにみとれてます



座光寺音頭踊れたかな？

どの屋台も大盛況！

楽しい展示物や見どころいっぱい！
行って良かった健康フェラザ

健康志向について概要が質問形式で話され、数値とグラフがよりわかりやすくなつた。生活习惯の見直しや、それに伴うウォーキングのすすめ、足腰を鍛える事の必要性などが関連付けられて理解しやすかつた。昭和四十年代の食卓の写真と、現在の食生活の比較の所では、現代病の背景が浮き彫りにされた。

歩きとエネルギーの消費について、一日一万歩目標にしようという事で、体重維持のコツとして、スポーツ等によるエネルギー消費と、食べる事によるエネルギー摂取の調整が大切である事がわかつ

神経伝達のしくみ等、体験的展示物によりわかりやすく説明されていた。

オリンピックコーナーでは、アスリート達の食事やメダリストの体の大きさを実感出来たり、ハンマー投げ、フエンシングなどの道具に触れたり、本物のメダルを拝見出来た事も良かった。

昼は地上十一階、眼下に南知多の眺望、食事は魚と季節野菜のランチとデザートで舌鼓、じゅうぶん堪能する事が出来た。午後は、魚太郎（鮮



(健康福祉委員) 今村直樹

地に健康をテレマにした三三のゾーン【運動】【健康】【研究】が緑豊かな丘陵地に広がっていた。最初案内の方から「健康についてのお話」が二十分程度あり、その後はお目当ての所を自由見学という形で行われた。

健康志向について概要が質問形式で話され、数値とグラフがよりわかりやすくなった。生

おまけにガイド兼運転手も女性、女性一色のなか、一行は愛知健康プラザへと向かつた。トヨタのお膝元、広大な敷

るエネルギーを解消させるには、三十分钟以上ウォーキングが必要である。食べる事で調節するかスポーツで消費させることで、自分に合った方法が長続きさせるポイントである。

魚)えびせんの里へ立ち寄り
買物、時間正確に無事、帰路
に着く事が出来た。

交流事業について

思ひ出で

七
声

投稿欄

本立ての案で会合を重ねて準備をしてきました。

ところが、自治会から今年も渋谷区との交流会に協力を
お願いしたいとの要請があり、
予定を変更して水辺体験を行
交流会の中に組み込み、交流会
終了後、座光寺の子供たちだけ
で川遊びという形にしました。
そして当日が雨天になってしま
まうと、水辺体験は中止にな
り水辺の広場委員会、育成
部、座光寺の子供たちは悶々
らなくなるため、その場合は
当初の計画通りの『水辺の広
場で遊ぼう』を行うとして

七月十五日、渋谷区との交流事業があり、公民館育成部として参加しました。育成部の年間計画では水辺の広場委員会との合同同主催行事「水辺の広場で遊ぼう」を七月の末に行う予定でした。「座光寺の自然に触れ思いっきり遊び」をねらいにして、水生生物の捕獲と学習、飯倉炊爨、川遊びの内容で、子供たちと一緒に楽しもうとした計画でした。

う、でもここから。

いがあり、年間行事計画をたててきました。それがここ二年交流会のために変更になり、できていません。

流会の中に組み込み交流会
終了後、座光寺の子供たただけ
で川遊びといつ形にしました。
そして当日が雨天になってしま
った。まうど、水辺体験は中止にな
り水辺の広場委員会 育成部、
座光寺の子供たちは閑散と
らなくなるため、その場合は
当初の計画通りの『水辺の広
場で遊ぼう』を行なうという

これから交流会が定着するのであれば、年間行事をたてる段階で、交流会と育成部としての行事との折り合いをどうするか、日程や内容の組み合わせなどの検討で両方がうまくできるのかどうか、私たちの大まかな課題だと思います。



小林正明先生による解説

ほたるを見る会

現地自由解散で今年も無事終わる事が出来ました。

■ 参加者感想

ホタルを見る会

四年 佐々木悠貴

六月三十日のほたるを見る会で、ホタルをつかまえました。

た。

ホタルは、きれいな水のある場所や、林などにも、せいそくしていきます。ホタルはきれいな水がすきということは、ホタルがいる川や池の水が、きれいだというしようこのなです。

「ホタルはきれいな水がすきなんだなあ。」と思いまし

つかましたホタルは、後で

蚕を見る会に参加してみて

六年 塩澤 華子

私は、蚕を見る会に参加してみての感想が三つあります。一つ目は、蚕の見分け方です。教えてもらつた見分け方は、意外と簡単なことかと思いました。でも、やつてみた

ら分かりにくくてうまくできませんでした。

二つ目は、蚕をとるときです。蚕は溝の岸の草にとまっているので、溝に落ちて濡れそうだったので、うまく取れませんでした。友達は、どんどん取れていてすぐかつたです。

三つ目は、蚕を手に取つたことです。友達にとつてもらつた蚕を手に乗せてみたら乗せている感覚があまりありませんでした。でも、持てたのによかったです。

今度は、自分で取つたり見分けたりしたいです。

飯田りんごんへ参加

座光寺小六年二組

座光寺小学校六年二組は、卒業までの一年間で地域に根ざした思い出づくりをしようと、地域の様々な催しに親子で参加させていた

だいております。

りんごんの参加についてでは踊れない人もいたので、事前に練習をして本番に臨みました。踊りに合わせた「麻績の里、麻績の里」の掛け声や、「りんごん、りんごん、ほいおいなあ」で大きくジャンプ!など六年二組オリジナルの踊



引渡式のテープカット

座光寺地域で移送サービス開始しました

健康福祉委員長 清水 明

座光寺地区内に居住する、公共交通の利用が困難な高

齢者等の移送を援助するため、

座光寺地域移送サービス事業

が六月一日に開始いたしました。

五月三十日には、飯田市社会福祉協議会より支給して

いたいた車輛の引渡式も、

振興センター駐車場にて、福

田社会福祉協議会会長並びに

湯沢自治会長出席のもとに無事終了、移送サービス運転手四名による試乗も完了いたしました。

現在、運転手は講習を受け

てみての感想が三つあります。一つ目は、蚕の見分け方です。教えてもらつた見分け方は、意外と簡単なことかと思いました。でも、やつてみた

ていくと思われます。

この移送サービスを通じて、今後徐々に登録者が増えていくと思われます。

座光寺の地域福祉の向上が更に図られる事を強く念願するものです。



クラスがひとつにまとまつた!

りを披露しました。最後まで踊れるか心配でしたが時間はあつという間に過ぎました。また一つ楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

No. 14

「地域の歴史にふれる」—シリーズ—

駅前通り開通の前

高岡森から如来寺前までの道路は大正十四年に新設されています。大正十二年には、当時の伊那電気鉄道元善光寺駅が開設され、引き続いて郡道駅前道路が開通しました。

この道路が開設されると、上野下の藪添いや北市場の高岡森近くの商店や、村内・村外から次々移住する人が多く、昭和元年頃には旧市場商店街を含めて七十軒以上の商店が並んでいました。「元善光寺商店街」であります。

伊那電気鉄道や元善光寺駅前道路が開設される前は、一面桑畠や水田であります。人家も現在の中市場には二軒、東側の池田地籍に三〜四軒、高岡森西側に北市場の商店が数軒あつただけと云われています。元善光寺駅が開設、伊那電気鉄道が開通した大正十二年には車の通れる道は如来寺前から共信社（現在の農協）前から高岡森西側の道路で、三共の林梢さんが飯田からハイヤーを運転するのに、この道を通り高岡森から元善光寺駅へ入ったと云われています。



大正13年 駅前道路の工事（奥は高岡森）

伊那電気鉄道や駅前道路の開設以前の写真が幾つか残されています。古瀬の前に大石垣があり、その前に道路がありました。この道路は高岡森の東側から現在の元善光寺駅の西側、吉澤さんの裏に一部残っています。吉澤さんの裏に一部残つてい

り、本沢右岸を上つて竜西線に通じていました、この旧道は本沢井沿いの吉澤さん裏を通じました。この旧道は吉澤さんの裏に一部残つていいところは上野の福田宅、場地籍には正面の今村両家があつただけで、民家はありません。中央右側は酒造の倉庫、高いところは上野の福田宅、

北側奥は藤本醤油所と北市場の商家と思われます。この辺りは古瀬平遺跡の中心で、酒造倉庫の建設中に古墳時代の古い土器や奈良時代の古瓦が発見されています。後に元善光寺駅の南西では弥生時代・古墳時代・平安時代の住居址が多く発見されています。

ます。本沢に沿つて上る道は古い道で、旧市場から通ずる道につながり、更に登つて如来寺の裏門通りに通じ、更に登つて旧宗安院下から上野の横道に通じていました。

桑畠は現在の駅前通りやJRの軌道辺りと思われます。一面の桑園で正面の道は古瀬平から池田の大前・南へ通ずる道であります。現在の中市



現在の駅前通り

編集後記

ある日の編集会議の後、館長さんが「これから女子バレーの閉会式に出席する」と言わ

れ「エッ!! 女子バレーをまだ続けてくれてる」と大変嬉しく思いました。というのも二十数年前、当時の体育委員長さんから「座光寺でも女子バレーのリーグ戦を」と言われ

す。古瀬平に江戸時代初期に新寺が建てられたとか、本田善光が阿弥陀様を迎えたときに安置したと伝えられる「如来腰掛石」があり、昭和二年に「鬼子母神」の金銅仏が地中から発見されています。鐵の硯が出たと伝えられていますが、本田善光の時代より相手のものであります。如来腰掛石の記録は全くありません。江戸時代の終わり頃に「善光屋敷」と呼ぶようになり、その頃「如来腰掛石」が据えられたような日記記録があります。新寺が建てられたといふ文書や古瓦か何か古いものが発見されたことから我が家が先代が善光屋敷と呼ぶようになったのでは無かるかと思っています。

（故 今村善興）

子連れ参加のお母さんも多く、学校で子ども同士夜会う約束が出来ている様子でした。今年はロンドンオリンピックで日本中が盛り上がった熱い夏でした。親子二人三脚でオリンピックを目指しメダルを獲得できた選手も多く話題となり感動をもらえた日々でした。子どもの頃からスポーツに親しむ環境作りは大切な事だと思います。座光寺からオリンピック選手が出る日を期待しています。（広報尾澤）

